



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東  
 コード番号 7561 URL http://www.hurxley.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部部長 (氏名) 芝田 浩実 TEL 06-6376-8088  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	34,644	△0.6	661	36.8	1,021	22.9	636	0.4
30年3月期第3四半期	34,839	△3.6	483	△29.3	830	△15.2	634	△7.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 506百万円 (△10.4%) 30年3月期第3四半期 565百万円 (△18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	67.79	67.72
30年3月期第3四半期	67.56	67.45

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	36,699	54.7	20,093	54.7		
30年3月期	36,379	54.7	19,917	54.7		

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 20,085百万円 30年3月期 19,907百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
31年3月期	—	17.00	—		
31年3月期 (予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	3.5	800	27.5	1,300	15.3	1,000	59.7	106.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	11,025,032株	30年3月期	11,025,032株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,636,234株	30年3月期	1,636,234株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	9,388,798株	30年3月期3Q	9,385,028株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲載される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にあるものの、米・中国間をはじめとする世界各国の政治情勢の不安定さにより先行きは不透明となっております。当社グループが属する「食」の分野でも、第2四半期連結累計期間において発生した地震や台風、集中豪雨など自然災害による影響もあり、消費者心理は節約志向となっており、また食材価格や人件費の上昇傾向の中で、顧客獲得に向けた厳しい競争環境となっております。このような環境の中、当社グループは、お客様の立場に立った「食に対する安全」の追求を経営理念に据え、また多様化するお客様のニーズに応えられるような、商品力の強化とサービスの提供を進め、当社グループへの信頼感の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高346億44百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益6億61百万円（同36.8%増）、経常利益10億21百万円（同22.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億36百万円（同0.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

大好評いただいております「日替りシリーズ」の累計販売食数1000万食突破を記念し、おみそ汁のプレゼントキャンペーンを実施いたしました。同時に「人生は日替りだ」をキーワードに漫才師の中川家がほっかほっか亭のフレンドパートナーに扮するテレビCMも放映しご好評をいただきました。

冬季の人気メニューでは「牛すき焼」や「中華丼」を販売開始し、手づくりで野菜がたっぷり摂れるほっかほっか亭ならではのメニューに大変ご好評をいただきました。

また、6月より導入いたしました「ほっかポイントアプリ」では毎月企画を実施いたしました。11月は極厚ハンバーグシリーズのリニューアルを記念した企画を実施し、毎週連続でほっかほっか亭商品券が当たるキャンペーンを行いました。12月にはアプリ画面をスクラッチすると、もれなくポイントをプレゼントする企画を実施し、アプリ会員のお客様に楽しんでご利用いただけるよう様々な取り組みを行いました。

この結果、持ち帰り弁当事業は、売上高139億7百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益8億84百万円（同2.1%増）となりました。

#### ②店舗委託事業

店舗委託事業においては、テナントオーナーのニーズを的確に捉え、企業価値を向上するために、自社運営サイトである「店通（てんつう）」を通して店舗業界に対する当社ブランドの浸透と当社サービスへの信頼感の向上に取り組んでまいりました。

また、三大都市圏を中心に優良物件を積極的に仕入れる一方、低採算店舗の解約等による物件稼働率の向上を図り、利益の向上に努めてまいりました。

さらに、既存ビルから飲食ビルへのコンバージョンや新築物件のマスターリース等により、物件の資産価値向上についても推進してまいりました。

この結果、店舗委託事業は、売上高180億23百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益5億29百万円（同37.4%増）となりました。

#### ③店舗管理事業

店舗管理事業においては、ビルオーナーのニーズを的確に捉え、資産価値を向上するための各種サービスを積極的に展開してまいりました。また、提供するビルの管理関連サービスに加え美容・医療のテナントオーナー等、従来の飲食業以外のテナントオーナー向けに物件のサブリースと業務コンサルティングによる収益機会の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、店舗管理事業は、売上高4億59百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益2億52百万円（同6.3%減）となりました。

④フレッシュベーカーリー事業

フレッシュベーカーリー事業においては、クリスマス時期のシュトーレン、ご好評いただいているクインシーのブラッシュアップを進めたほか、冬バージョンのクインシー(あずき)を新発売するなど、品質向上・販売強化に努めてまいりました。

この結果、フレッシュベーカーリー事業は、売上高9億73百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業損失44百万円(前年同四半期は営業損失1億44百万円)となりました。

⑤その他の事業

物流関連事業においては、顧客の要望に最適な物流ソリューションで応える3PL(Third-Party Logistics: サード・パーティー・ロジスティクス)企業としての地位を確立しつつあります。また、物流コーディネーターだけでなく、食に関する新たなニーズを発掘し、自社製品にとどまらず、多方面のネットワーク、多彩な分野のノウハウを活用して企画・立案・プロデュースする取り組みも強化してまいりました。

この結果、その他の事業は、売上高12億80百万円(前年同四半期比6.4%増)、営業利益49百万円(同25.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は366億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億19百万円増加しました。これは主に借地権が増加したことによるものです。

負債合計は166億5百万円となり前連結会計年度末に比べ1億42百万円増加しました。これは主に借入金が増加し、未払金が増加したことによるものです。

純資産は200億93百万円となり前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月9日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,663	7,530
受取手形及び売掛金	1,614	1,662
商品及び製品	610	711
原材料及び貯蔵品	81	96
その他	859	862
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	10,811	10,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,278	5,301
機械装置及び運搬具（純額）	292	371
工具、器具及び備品（純額）	219	263
土地	10,918	10,918
リース資産（純額）	11	5
建設仮勘定	32	94
有形固定資産合計	16,751	16,954
無形固定資産		
借地権	70	459
のれん	12	5
その他	67	79
無形固定資産合計	150	544
投資その他の資産		
投資有価証券	2,266	2,092
長期貸付金	14	14
敷金及び保証金	5,617	5,567
繰延税金資産	384	307
長期未収入金	593	594
その他	427	402
貸倒引当金	△638	△625
投資その他の資産合計	8,665	8,353
固定資産合計	25,567	25,852
資産合計	36,379	36,699

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,275	2,282
短期借入金	769	1,227
1年内返済予定の長期借入金	2,166	862
未払金	826	1,038
未払法人税等	212	92
未払消費税等	83	66
賞与引当金	139	132
その他	1,724	1,884
流動負債合計	8,197	7,587
固定負債		
長期借入金	3,539	4,136
退職給付に係る負債	33	31
長期預り保証金	4,129	4,199
資産除去債務	349	358
その他	212	291
固定負債合計	8,264	9,018
負債合計	16,462	16,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	3,980	3,980
利益剰余金	14,121	14,429
自己株式	△2,299	△2,299
株主資本合計	19,839	20,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	△62
その他の包括利益累計額合計	67	△62
新株予約権	9	8
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,917	20,093
負債純資産合計	36,379	36,699

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）
売上高	34,839	34,644
売上原価	27,121	26,780
売上総利益	7,718	7,864
販売費及び一般管理費	7,235	7,202
営業利益	483	661
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	13	31
受取賃貸料	138	126
業務委託契約解約益	111	128
持分法による投資利益	24	4
その他	138	140
営業外収益合計	430	433
営業外費用		
支払利息	24	18
賃貸費用	25	25
業務委託契約解約損	7	4
その他	25	24
営業外費用合計	82	73
経常利益	830	1,021
特別利益		
固定資産売却益	28	0
投資有価証券売却益	156	1
受取補償金	61	34
事業分離における移転利益	50	—
その他	6	7
特別利益合計	303	43
特別損失		
固定資産除却損	34	23
固定資産売却損	0	—
減損損失	181	47
その他	3	4
特別損失合計	219	75
税金等調整前四半期純利益	914	989
法人税、住民税及び事業税	247	229
法人税等調整額	32	123
法人税等合計	280	352
四半期純利益	634	636
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	634	636



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	634	636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	8	△25
その他の包括利益合計	△68	△130
四半期包括利益	565	506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565	506
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

コインランドリーサービスの収益及び費用については、従来、「営業外収益」、「販売費及び一般管理費」及び「営業外費用」として表示しておりましたが、コインランドリーサービスの展開を開始したことを契機に、その実態をより適切に表示するため、第1四半期連結会計期間より「売上高」及び「売上原価」に含めて表示する方法に変更いたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた79百万円は、「売上高」79百万円、「販売費及び一般管理費」に表示していた17百万円、及び「営業外費用」の「その他」に表示していた2百万円は、「売上原価」20百万円として組み替えております。